

令和4年度 山形県立長井工業高等学校 学校評価書 (自己評価・学校関係者評価)

第6次山形県教育振興計画(後期計画)

基本目標：人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

テーマ：つなぐ～いのち、学び、地域～

目指す人間像：「いのち」をつなぐ人 学びを生かす人 地域をつくる人

全体を貫く基本姿勢 広い視野と高い志を持って

教育目標 (目指す生徒像)	(1)「人間性の育成」 責任感と協調性を重んじ、礼儀正しく思いやりのある、心身共に健康な人間の育成
	(2)「創造性の育成」 確かな学力を身に付け、創造性豊かで実践力のある、たくましい人間の育成
	(3)「社会性の育成」 ものづくりと、地域と連携した活動を通して、社会に貢献できる人間の育成

【達成度】 A:十分達成できた B:ある程度達成できた C:あまり達成できていない D:まったく達成できていない

自己評価				学校関係者評価	総括	
番号	重点目標	評価基準	目標の達成状況、達成にむけた取組み状況と分析	達成度	成果と課題、次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等
1	社会を生き抜く確かな学力の育成	学習指導	① 「観点別学習状況の評価」実施を含めた指導と評価の充実改善	B	評価と評点との整合性がとれず、訂正や設定基準の見直しに迫られる場面があった。次年度は評価法がだいたい定着すると思われるが、2学年でも新教育課程に移行するため、引き続き丁寧な指導計画、授業運営、評価を心がけていく。 活用場を増やすとともに、他校の先行活用事例や教科間での連携を深めながら指導方法の研鑽を深めていく必要がある。 初めてのことなので、教える側の知識がないと大変であると感じた。研修の機会があると良いのではないかと。評価については検討が必要である。 実習への展開を試行中であるが、生徒向け指導資料(実習テキスト)の作成が必要である。NCコードやDXFコードについても取り扱うとともに、製図検定に向けた指導への活用を検討していきたい。	・R4年度入学生は前年より増えた。入学者増加のための改革を緩めないでほしい。 ・全校課題研究発表会での堂々とした発表や説明のうまさ、レベルの高さに驚いた。特に福祉生産システム科の発表が良かった。中学生に見せるなど外部にもっと発信してほしい。
			② 一人一台端末の活用を含めたICT化、デジタル化への対応			
			③ 新規に導入する「総合的な探究の時間」の実施と改善			
			④ 新規導入となる「デジタル産振設備」を活用した新たな実践			
2	社会で自立できる基礎的な力と実践力の育成	生徒指導 特別活動 進路指導	① 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上(SNS利用、成年年齢引き下げ対応を含む)	B	スマートフォンの使用方法について、一部の生徒が間違った使い方をしたため、職員の共通理解で生徒指導にあたる。投票に参加する生徒が増えるよう、今後も継続して呼び掛けていきたい。 来年度から部活動は任意加入になる。加入しない生徒を把握し各種コンテストやボランティア活動等に進んで参加できる体制を構築したい。 創立70周年記念事業に向けて、諸活動を通して長井工業高生として誇りを感じられる場面をつくっていきたい。 全員内定ではあるが、就職試験で3名が不採用だった。基礎学力のさらなる充実と対人関係での協調性、創造性を鍛えていかなければならない。公務員(行政)合格は本人の努力と粘り強い指導が実を結んだ。	・夏休み中、地元の産業界5社で募集を出して5、6名がアルバイトをした。今後も募集を出すので地元企業で働く経験をしてほしい。来年で降も継続したい。
			② 特別活動や部活動、コンテスト等への積極的な参加を推進			
			③ 創立60周年記念事業等各種行事を通じた帰属意識と愛校心の一層の醸成			
			④ キャリア教育と基礎学力向上が結びついた進路指導の更なる研究			
3	安心・安全で元気な学校づくり	いじめ防止 保健衛生 安全指導	① いじめ防止に向けた組織的、計画的な取り組みの継続と早期発見・早期対応	B	いじめが発覚した場合、生徒だけでなく、保護者に状況を理解していただき、丁寧な継続指導が必要になる。発覚後から3ヶ月後に改善されているか生徒面談等を行う。 新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して行ったが、従来の対策が緩和されたこともあり感染者や濃厚接触者が増加した。検診後の受診勧告や学級での呼びかけ等をおこなったが、受診率はまだまだ低い状況にある。 実習における安全作業を厳守させるとともに、互いに協力し合い、決して傍観的な態度を取らず、慎重な姿勢で臨むように指導できた。	・課題研究発表会の様子を動画でHPにアップしてはどうか。 ・創立60周年事業で校門隣接して設置した校名表示サインは素晴らしい。
			② 心身の健康の保持増進するための実践力の育成(新型コロナウイルス感染防止対策の継続、検診後の受診率の向上、自己肯定感を高めるための取り組み)			
			③ 自他の「いのち」を守る安全教育の推進(交通安全、実技・実習等での事故防止)			
4	地域に貢献し信頼される学校づくり	地域連携 情報公開	① PTA活動の充実を含めた保護者との連携	B	PTA総会・授業参観、PTA研修行事への参加者を増やすように努めていく。 さくら連絡網やクラス通信等の発信を通して連携を強めていくように努める。 列車清掃は、生徒会ではなく普段列車を利用している生徒を中心に実施した。地域の要望で「お化け屋敷」に文化祭で使用した小道具をお貸しした。参加する生徒が学級閉鎖のため参加できなかったのが残念だった。 今後も様々な機会をとらえホームページの更新を図っていく。コロナ禍のために保護者や地域の方々と接する機会が激減しているため、ホームページ等を積極的に活用しながら情報発信に努める必要がある。	・夏に全国放送されたドッキリGPも良かった。今後も何かあればアピールの場として活用してほしい。
			② 地域と連携した健全育成と郷土愛を育む教育の継続実施(「学校奉仕活動」等)			
			③ 積極的な情報提供と情報発信(ホームページ、一斉メール、市の広報等の継続利用)			